

滿洲に對する完全な支配権を握り滿洲國獨立の影にカケレて、支那中國に於ける労働者農民の革命運動を壓殺し全世界の労働大衆の祖國ソヴェートロシアの労働準備を着々と進めてゐる、だが支那中國ソ同盟の労働を容易に遂行するために國內労働者農民の徹底的な行動を仰へつけ意欲のオクレた労働大衆をゴマカシネムリ込ませる政策をとつてゐる。二月初めの暴徒の如きは全農青年團を約二十縣にわたるその旨再び新潟富山、山縣に徹底的な弾壓を加へられ新聞紙の報ずるところによつと、日本共産黨、日本労働組合全國協議會、プロレタリア文化聯盟等の徹底的な労働者農民はたへず進歩的組織され警官の増員、武装警官の配備等支配階級は労働者農民を弾壓するため必死となつてゐる、かゝる弾壓を加へる一方自作農制定米穀專買法農業保險法等によつて農民をゴマカシ小作調停法、農事實行組合協調組合の設立を以て農村労働大衆の革命化を懐ひとめやうとしてゐる、そればかりでなく青年團女

子青年團、消防隊、在郷軍人會を利用し労働、小作争議の際には暴力團として働らかせ新聞、映画芝居、ラジオ等の輿論機關まで一切をあげて資本家地主共の宣傳道具に使つてゐる、殊に最近一番力をそそいでゐるのは、ファレスト、社會ファレストの利用である、ファレストが頭を持ち上げてきたのは滿洲事變からである「日本生産黨」「神武會」「國家社會黨」等は將校反動學者や元地圖會のゴロツキを中心組織されたものであつて「徹底放棄の打倒」「労働者農民中工業者を救へ」と労働者農民一敵大衆の味方であるかのやうに言つてゐるが實は資本家地主の友誼である事部の隠然或は公然たる地し者で徹頭テア尾資本家地主の立場にあり特に金融資本の陶大であり手先である、大資本家の増設、労働者農民の増設計劃をやれば労働者農民の生活がよくなるかの被考へをもたせてゐるが軍部で政治権力をとつて、モットモット労働大衆を搾り金融資本家を助けてゆこうと云ふのである。